

寸言

京セラ株式会社
取締役 執行役員専務
機械工具事業本部長

石井 健



航空宇宙産業への貢献

このたび、弊社は日本航空宇宙工業会に入会させていただくことになりました。新入会に際しましては、関係者の皆様方には、大変お世話になりありがとうございます。

京セラグループでは、素材から部品・デバイス、機器、さらにはサービスやネットワーク事業にいたるまで、多岐にわたる事業をグローバルに展開しています。それぞれのプロダクトラインが、グループの独自技術を融合させることで、新製品を生み出し、新たなマーケットを創造し、さらに広く積極的に展開しています。航空宇宙産業に対しましては、特に部品を中心に幅広く採用していただいています。日本中を沸かせた「はやぶさ」では、非常用バッテリー端子に弊社のファインセラミック部品を搭載いただきました。

一方、私が担当しております、機械工具グループは、総合工具メーカーとして、高能率・高精度加工で世界のものづくりに貢献することを事業の大義として、日々努力しています。世界では、製造拠点は20カ所、営業拠点は129カ所、テクニカルセンターは16カ所あり、グローバルで展開しています。

近年の航空機のエンジンや機体材料には、強度と軽量化を求めて、CFRPや特殊チタン合金、アルミ複合材料等、加工が難しい材料が多く使われています。各社様それぞれ、より高い生産性を求めて改善・工夫を続けておられますが、まだまだ、改善できる領域が多く残されています。当グループでは、最新の材

料技術、薄膜技術、加工技術の総合力を生かし、優れた切削工具を開発しています。最近では、耐熱合金・難削材加工に適したPVD薄膜コーティング工具やアルミ合金の長寿命加工を可能にした薄膜DLCコーティング工具等の新材質を開発、京セラ独自の切削工具として、ユーザー様から高い評価をいただいています。

切削工具はあらゆる産業に必要な不可欠の商品です。小さな部品ではノートPCのHDDモーターから、大きなものでは、航空機の機体材料や発電関連のタービンブレード等、様々な分野で使われています。また、大変多くのユーザー様がおられ、非常に高い独自技術で、ここだけにしかできないという加工ノウハウを持っておられるところも多くあります。

今回の新入会を機会に、より多くの関係者の皆様方に最新の工具を知っていただき、「ものづくり」を通じて航空宇宙産業に貢献したいと考えています。

「日本のものづくり」は「世界のものづくり」を支えていると言っても過言ではありません。航空宇宙はいままでも、多くの人たちの夢でした。これからも夢であり続けると確信しています。そのような中で、「ものづくり」に携わせていただいていることを、関係する多くの方々に感謝申し上げます。

最後になりますが、日本の航空宇宙産業発展に貢献できるよう、さらに努力していきたいと考えますので、今まで以上によりよろしくお願い致します。